

■破損時の対応

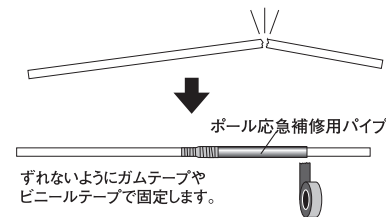
本テントが万一破損した際は以下の通り応急処置をしてください。
生地破損については別途リペアセットをご用意しております。

フレームが折れた際

ポール応急補修用パイプの使用方法

テント設営時には強風や豪雪などの理由によりポールが折れる場合があります。副木を添えて応急処置をすることもできますが、このテントの付属品であるポール応急補修用パイプを用い応急処置も可能です。

下山後は販売店に修理を依頼してください。



■アフターケア

間違ったメンテナンスや保管方法はテントの寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

お手入れ方法・保管方法

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干して乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置すると色移りやカビの発生する可能性があります。また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、フライシートやグラウンドシートなどの撥水性（水を弾く力）が低下した場合は別売のS.R.スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、スモースライダー™やローソクの口を塗ると回復します。

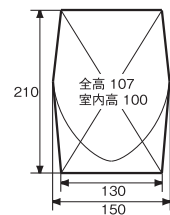
長期間使用しない時の保管方法

- テント本体やスノーフライ等を長期間使用せずに保管する場合は、なるべくゆるくたたみ、風通しの良い場所に保管してください。付属の収納袋はきつめにたたまないで入らないため使用を避けてください。
- ポールやベグは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

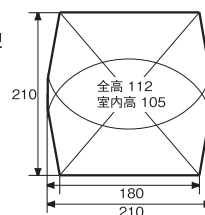
■重量および寸法

※（ ）内はベグ、張り綱、スタッフバッグを含む総重量です。
※図中の単位はcmです。

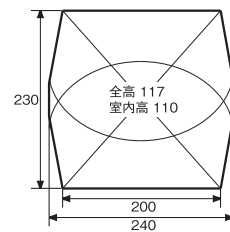
●#1122236
ジュピタードーム 2型
本体重量／2,520g
(2,770g)



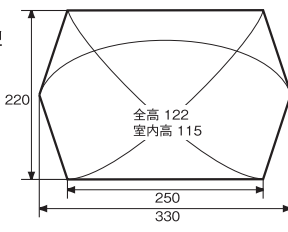
●#1122237
ジュピタードーム 3型
本体重量／3,260g
(3,560g)



●#1122238
ジュピタードーム 4型
本体重量／3,580g
(3,880g)



●#1122239
ジュピタードーム 6型
本体重量／5,720g
(6,100g)



モンベルでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。無償修理、もしくは交換させていただきます。ただし間違ったご使用や、製品不良以外の原因による故障につきましては有償修理となります。

株式会社 **モンベル** 本 社 〒550-0013 大阪市西区新町1-33-20

商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで

Tel. 06-6531-3544 フリーコール：☎ 0088-22-0031

モンベル・ウェブサイト <http://www.montbell.com>

04-785-0611

Jupiter Dome

2,3,4,6



ジュピタードーム [2] [3] [4] [6]

軽量・コンパクト設計ながら
高い耐風性と居住性を実現した冬季用ドーム型テント

Jupiter Dome

ジュピタードーム [2] [3] [4] [6]

このたびは〈モンベル・ジュピタードーム〉をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

このテントは積雪期での使用を想定してデザインされた、非常に高い耐風性を備えたドーム型テントです。

冬季用山岳テントに求められる機能を高いレベルで実現しながら、同時に携行性についても極めて高い性能を誇ります。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みいただき、部品等の確認をしてください。なお、ご不明な点などございましたら、販売店もしくは弊社コンシューマ・サービスまでお問い合わせください。この説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

テントをご使用になる前に必ずお読みください。

テント使用上の注意



テント内やテント近くでは、絶対に火気を使用しないでください。

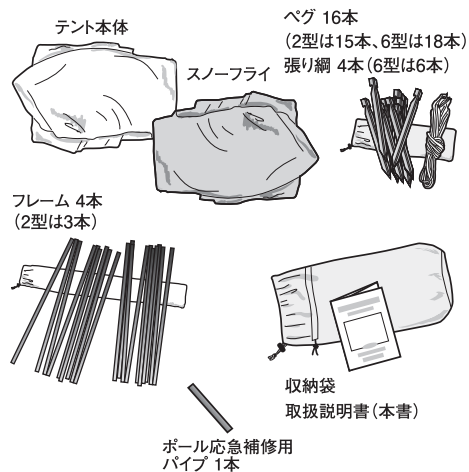
- テントとして使用の際には必ずベグで固定してください。砂地や雪上では状況に応じたベグ等が別途必要です。
- キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- テント設営地はできるだけ平坦地を選び、危険のない場所を選んでください。
- ナイロンは太陽光線による紫外線劣化の影響がありますので、数ヶ月経ったまま放置しますと著しく寿命が縮まります。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。

- ベンチレーターや出入口などの換気パネルを常に開け、換気には充分ご注意ください。
- 付属のベグには鋭利な部分がありますので、取扱いにはご注意ください。
- 台風や、落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指事に従い、安全な場所に避難してください。

仕様

実際にテントをご使用になる前に部品の欠品が無いことをご確認ください。

構成部品および内容明細



各パーツ仕様

【2型～4型】

- キャンピー:40デニール・リップストップ・ナイロン (通気撥水加工、難燃加工)
- グラウンドシート:70デニール・高密度ナイロンタフタ (耐水圧2,000mmウレタン・コーティング、難燃加工)
- スノーフライ:40デニール・リップストップ・ポリエステル (通気撥水加工、難燃加工)
- フレーム:本体ポール【フェザーライトポール】(φ9.3mm) アルミ合金7001、ショックコードつき、ポール応急補修用パイプ1本

【6型】

- キャンピー:70デニール・リップストップ・ナイロン (通気撥水加工、難燃加工)
- グラウンドシート:100デニール・高密度ナイロンタフタ (耐水圧2,000mmウレタン・コーティング、難燃加工)
- スノーフライ:75デニール・リップストップ・ポリエステル (通気撥水加工、難燃加工)
- フレーム:本体ポール(φ11mm) アルミ合金7001 ショックコードつき、ポール応急補修用パイプ1本

※スノーフライに防水性能はありません。本テントを積雪期以外で使用される場合は、スノーフライの代わりに別売の【ジュピタードーム レインフライ】をご使用ください。

テント設営手順

新しいテントに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、試し張りされることをお勧めします。

1・設営場所の選択

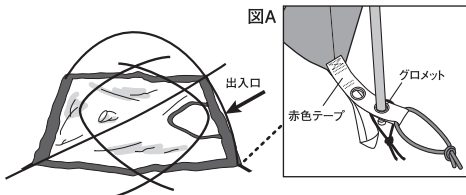
本テントは山岳用テントとして設計されています。テントの設営地に指定されている場所でも、大雪、台風などの強風や豪雨などの厳しい自然条件下では、十分に注意し設営してください。また稜線上や大木、広い草原では落雷にも注意してください。設営後、気象予報などで風が強くなりそうな情報があれば、石や雪を積み重ねてまわりを囲って防風壁を作ってください。なお、設営前に出入口は風下側を選びます。冬場は北半球においては北西風が吹くことを考慮してください。

2・テント本体の組み立て

- インナーテントの仮固定とポールの組み立て
 - ①ツイストグリップフック™のついている面を上にして広げます。強風時には風でテントが飛ばされないようベグで仮留めしてください。
 - ②次にフレームを、中に通っているショックコード通りにジョイントを接続し組み立てます。
- ※2型は長さの同じ2本のメインポールとメインポールより短い1本のサブポールで構成されます。
- ※3・4・6型は全てのポールが同じ長さでメインポールないしはサブポールとして使えます。
- ※6型には計4本フレームが付属しますがテント本体の組み立てには3本を使用し、残りの1本はスノーフライの取り付けに使用します。

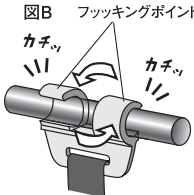
●メインポールの取り付け

ポールの先端をフロアの各コーナーに縫い付けてある赤色テープのグロメット(鳩目)に固定し(図A)、フレームを湾曲させてもう一方の先端も固定します。同様に他のメインポールも取り付けます。



●ツイストグリップフック™の取り付け(メインポール)

インナーテントに設けたツイストグリップフック™を対角線上に並んだ赤色テープに沿ってメインポールにセットします。フック中央の溝にポールを通し、2点のフッキングポイントがポールをロックするようにフックを回転させるだけでフックとポールがセットされます(図B)。フックはカチッと音がするまでしっかりと回転させてください。メインポールの交点部分にある2つのフック(赤色テープ)は、交点付近に取り付けますがそれぞれを別のポールに取り付けます。(どちらのポールに取り付けていただいても結構です。)



●サブポールの取り付け

メインポールと同様に、サブポールの先端をフロアの各コーナーに縫い付けてある青色テープのグロメット(鳩目)に固定します。フレームを湾曲させてもう一方の先端も青色テープのグロメット(鳩目)に固定します。同様に他のサブポールも取り付けます。(2型は、3本のうち中心で曲げられている1本のポールのみがサブポールとなります。)

●ツイストグリップフック™の取り付け(サブポール)

メインポールへの取り付けと同様に、青色テープに沿ってサブポールにセットします(図B)。

3・スノーフライの取り付け

- ①スノーフライに設けられた出入口を本体の出入口に合わせて被せてください。6型については出入口が前後にありますので、ベンチレーターの位置を参考に前後を正しくセットしてください。
- ②スノーフライの張り綱用ループの4か所(6型は6か所)の裏側に設けたツイストグリップフック™をテントポールに取り付けてください。ポールの交点部分では下側のポールにツイストグリップフック™を取り付けてください。スノーフライの各コーナーに設けたグロメット(鳩目)にテント本体のフレーム末端を内側から差し込みます。

4・テントの固定

- テントの各コーナーに設けられたループにベグを通してテントを固定してください。雪上にテントを固定される際は、別売のスノーアンカーや竹ベグなどを用いるとより効果的です。
- 張り綱は強風が吹くことを予想して必ず取り付けてください。張り綱用ループの裏側(フライシート内側)に、ツイストグリップフック™が付いたものが4か所(6型は6か所)あります。これらの張り綱用ループから張り綱を取ります。付属の張り綱にはランナー(自在金具)が付いており、雪上で使用される際はランナーを通したループをテント側にセットして使用します。(雪上で使用される際は張り綱の末端は雪の中に埋めて使用されることが多いためです。無雪期においては逆にした方が調節が容易です。)
- 上記張り綱用ループ以外にも8か所(2型は2か所)の張り綱用ループがありますので、さらに強度を高めたい場合などに使用してください。(この張り綱は付属していません。)

